

「緑と黒潮が育む 産業・文化・交流都市」を 目指して



日南市長
谷口義幸

本年3月30日に、旧日南市、旧北郷町、旧南郷町が合併し、新「日南市」が誕生しました。

「海の幸」「山の幸」に恵まれた土地

本市は、宮崎県の南部に位置し、東側は「日南海岸国定公園」を含む日向灘に面し、一方で北側と西側は、スギなどの人工林で占められています。このように、太陽と海、緑の山々に象徴される「海の幸」「山の幸」に恵まれ、温暖多照な気象状況も重なり、住む人や訪れる人に優しい自然環境豊かな土地柄です。

歴史ある町並みと自然豊かな名所

城下町の飫肥は、九州の小京都とも呼ばれ、昭和52年に九州で初めて、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。城下には、日本100名城にも選ばれた飫肥城をはじめ、武家屋敷や白壁の商家、蔵、こけむした石垣などが残り、文化財や史跡が数多くあります。また、明治の外交官で日露戦争のボーツマス会議において首席全権大使を務め、講和条約を締結した小村寿太郎侯の出身地でもあります。

港町の油津は、江戸時代から明治にかけて特産品である飫肥杉の積み出し港と



「道の駅」なんごう

して、また、昭和初期には、東洋一のマグロ漁港として繁栄しました。飫肥杉を上流から運ぶために掘削されたのが堀川運河で、長さ約900メートルの水路周辺には、赤レンガ館や堀川橋など、懐かしさと当時のにぎわいを伝える建造物が数多く残っています。

波光きらめく美しい海が広がる日南海

新市プロフィール



- 人口 5万9885人
- 世帯数 2万6566世帯
- 面積 536.12km²
(以上、平成21年6月1日現在)

●特産品
超早場米、宮崎牛、地頭鶏、極早生ミカン、マンゴー、スイートピー、飫肥杉、カツオ、まぐろ

●観光名所・旧跡
鶴戸神社、飫肥城、堀川運河、坂元棚田、サンメッセ日南、北郷温泉郷、猪八重溪谷、「道の駅」なんごう

●行事・イベント
西武・広島・横浜FCキャンプ(2月)、花立公園桜まつり(3月)、油津港まつり(7月)、なんごう黒潮まつり(8月)、飫肥城下まつり(10月)

岸には、日本神話の舞台になった、洞窟内に朱塗りの本殿がある鶴戸神社や絶景を望む南国ムード満点の「道の駅」なんごう、南洋植物が生い茂るトロピカルな植物園の亜熱帯作物支場があります。

山間部には、水と緑の楽園で、新しい癒やし「森林セラピー」を体感できる猪八重溪谷や蜂の巣公園があります。また、日本の棚田100選にも選ばれた、季節の移ろいが美しい坂元棚田があります。

このような豊富な地域資源を最大限に活用し、新市の将来像である「緑と黒潮が育む産業・文化・交流都市」の実現に向け、「声なき声」に心を傾け、一隅を照らしながら、市民・企業・行政との協働により、まちづくりに取り組んでまいります。